

	世田谷区立砧中学校 校長室だより 令和4年 5月16日 第 13 号 校長 大坂 崇		教育目標 「豊かな人間性の育成」 ◎ 集団生活における責任感と自主性を養う ◎ 健康な心身の育成と勤労の喜びを培う ◎ 基礎学力の充実を図り深く考える姿勢を育てる		
	社会性の学び		知的な学び	心と体の学び	
	自他の尊重 地域貢献		主体的な学び 学習の定着	心身の健康	

## メタ認知 と 学習 中学校での「学び」を捉えなおす

### 1 メタ認知能力の高い人と低い人

メタ認知能力の高い人	メタ認知能力の低い人
◎良好な人間関係 他人とのトラブルも「なぜ相手が怒ったのか」「自分に非がなかったか」と客観的に分析。 冷静に自分と全体の状況を把握し、同じ失敗を防ぎ改善につなげる。 ◎変化の激しい時代に適応 激しく変化する中で「自分の知識や考え方が古くないか」「過去の栄光に縛られていないか」を冷静に確認。変化に柔軟。現代社会で、ビジネスでもプライベートでも非常に重要な力。 ◎自己分析力が向上 自己分析能力も優れ、自分を客観視し、自然に自分に足りないものが見えてくる。 自分の傾向や弱点を理解し、冷静に自己分析し、自分を成長させる機会が増加。	◎自分中心の人間関係 友達と食事をするお店を選ぶ場合、相手の希望は考えず「自分が好き」という理由で決定。 相手が好きでない食べ物でも、無頓着。 仕事や人間関係でも同じことが繰り返し起き、周りに「空気を読めない」と思われる。 「自分のことを知りたくない」「自分を理解しない周囲が悪い」と考える傾向も強い。 「自分はマイナス思考だ」とわかっていても「他人は関係ない」「もっとひどい人もいる」と考え、欠点を受け入れない。 人のアドバイスも聞かず、ひどい場合は、「自分はこういう人間だから」と開き直る。 自分の成長の機会を絶ったり、他人に迷惑をかける。

### 2 学習・・・「主体的・対話的で深い学び」

主体的 : 自分から  
 対話的 : 他者と協働して  
 深い : 分析力を駆使して

いずれも「メタ認知」に通じる

### 3 教員の意識として・・・

授業で、生徒の「主体的・対話的で深い学び」を体現するには  
 教員に「メタ認知」への高い意識が必要 = 教員も「メタ認知」の向上を

この意識があってはじめて「クリティカル・シンキング（批判的思考）」ができる  
 \* 「メタ認知」のない「批判」は「批判的思考」ではなく、「他者非難」でしかない  
 これは教育活動ではない  
 \* 協働的な活動に、必須の意識  
 \* 適度に自身の認知状況をモニタリングし、コントロールできるメタ認知能力が必要  
 (⇒ 学校生活で生徒が様々な学習や活動をする時の視点)  
 \* ノートや提出物の評価も「メタ認知」(分析・改善による「学び」の深化)に通じていると教員は意識を・・・(自らの思考の過程や学びの調整を記入させることが大事)